

## 長寿を祝い市長が市内**最高齢者**を訪問

9/12[Sat]



▲横尾市長(左)から記念品を受けとる市内最高齢の村川さん(右)

9月21日(月・祝)の敬老の日を前に、横尾俊彦市長が市内最高齢になられる村川タイさん(東多久町)の自宅を訪問。記念品の花束や祝い状などを贈り、長寿を祝いました。

村川さんは市長から長寿の秘訣を聞かれると「しっかりご飯を食べて、お茶を飲むこと」と話し、普段から暮らしを支える家族にも感謝の言葉を話されました。

市内で100歳以上の人口は19人(9月1日現在)。今年度、100歳になられる9人には、国からの祝い状と記念品が贈られ、市からは祝い状と祝い金を贈りました。

## 不審者を撃退！杉の子保育園で**防犯教室**

9/18[Fri]

毎月18日の「防犯の日」に合わせ、不審者などから園児を守る方法を学ぶため、杉の子保育園(北多久町)で保育士と保護者を対象にした防犯教室が開かれました。

各地で防犯活動を行っている護身術のヒラオ(三養基郡みやき町)から防犯アドバイザーの鳥丸鶴一代表取締役と平尾昌晃さんなどの3人の講師を招き、保育士16人と保護者4人が参加。不審者に腕を掴まれた時の逃げ方やさすまたの使い方、身近な物を使った不審者の撃退方法を学びました。

教室に参加した保育士は「力が弱くても園児を守る方法を身につけられて良かった」と話しました。



▲さすまたや椅子を使って不審者の撃退方法を学ぶ参加者

## 日本の磁器の源流をたどる「**高麗谷窯跡**」展

7/22 [Wed] ~ 9/21 [Mon]



▲日本で初めて焼成されたとされる陶磁器の数々を展示しました

多久市郷土資料館で同館の開館40周年を記念した企画展「高麗谷窯跡」展を開催し、李参平が開いたとされる高麗谷窯跡(西多久町)から出土した陶磁器のうち、約280点を展示しました。

展示した磁器は、李参平が有田町での本格的な生産に先立って多久市で実験的に焼成したものと見られ、日本で初めて磁器が焼成された可能性を示します。

多久市郷土資料館の藤井伸幸館長は「平成15年の発掘調査で明らかになった、歴史の教科書が変わるような大発見。40周年という節目の年に、より多くの人に見ていただけて嬉しい」と笑顔で話しました。